

總人口の最後の確定數字

本調査施行地域(1)の總人口(現住人口)の最後の確定結果は次の如くである。

總數

一九三九・五・一七	七九、三七五、二八一
前國勢調査時	七六、四四〇、八五八
兩調査時増減	(+) 二、九三四、四二三(中三・八%)
男	子
一九三九・五・一七	三八、七六一、六四五
前國勢調査時(2)	三七、〇八九、八八八
兩調査時増減	(+) 一、六七一、七五七(中四・五%)
女	子
一九三九・五・一七	四〇、六一三、六三六
前國勢調査時(2)	三九、三五〇、九七〇

(1) メーメル地方、ダンチヒ自由市、舊波蘭領の東部地方、オイベン、マルメチ及モレスネを除く。
 (2) 舊領地(ザール地方を除く)一九三三年六月一日、ザール地方は一九三五年六月二五日、オストマルクは一九三四年三月二二日、ズデーテン獨逸地方は一九三〇年二月一日。

尚、本調査施行區域の面積は五八三、四〇八・〇八方料、一方料當りの人口密度は一三六・一人となる。

一九三三年以降の面積及人口増加

本調査の確定數字は右の如くであるが、いま本調査に於ける除外區域並に其後の獨逸新領土及勢力圏の人口を加算すると次の如くで、所謂大獨逸の總人口は九千七百萬に近く國勢伸長の跡を如實に物語つてゐる。

一九三三年首	面積	人口(1)
ザール地方(三五年三月)	一、九三五	八四三、四四〇
三五年三月—三八年三月	四七〇、五五五	六九三、六五六
オストマルク(三八年三月)	八三、七六四	六六五、〇三六

三八年三月—十月

五五三、〇九〇

七五、九六六、八九三

ズデーテン獨逸地方(三八年十月)

二九〇、九一九

三、〇八八、六九九

三八年十月—三九年三月

五三、四〇八

七九、七五五、三六一

ボヘミア及モラヴィア兩保護領(三九年三月)

四八、九九五

七、〇〇〇、〇〇〇

メーメル地方(三九年三月)

二八、四八八

一、五四〇、六九四

三九年三月—九月

五、六二五、五六

七九、五九九、九七五

ダンチヒ自由市(三九年九月)

一、九五一

四〇、七五七

三九年九月—十月

五八、二〇七

七九、九七〇、四九三

舊波蘭領東部地方(三九年十月)

九、九七四

九六、七〇〇、〇〇〇

三九年十月—四〇年三月

六八、〇八一

八九、五五五、〇〇〇

オイベン、マルメチ及モレスネ(四〇年五月)

一〇、五六二

六八、五九〇、〇〇〇

一九四〇年五月

六八、一三七

八九、六四〇、〇〇〇

獨逸及兩保護領合計

七三〇、二九六

九、六六三、〇〇〇

(1) メーメル地方、ダンチヒ、舊波蘭領東部地方及オイベン・マルメチを除く獨逸領土に對しては一九三九年の調査人口、ボヘミア及モラヴィア兩保護領に對しては一九四〇年首の推定人口、メーメル地方に對しては一九四〇年首の算定人口、ダンチヒ自由市に對しては一九二九年の調査人口、舊波蘭領東部地方に對しては一九三〇年の調査人口、オイベン、マルメチ及モレスネに對しては一九四〇年首の算定人口をとる。
 (2) 舊プロシア領地及びモレスネ中立地帯の面積及び人口にして國境の最後の決定は未だ行はれず。

獨逸國はその人口數に於ては今や歐洲に於てソ聯邦(歐露のみ約一億五千萬)に亞ぐ第二位にあり、獨逸より遙かにへだて、大ブリテン(北アイルランドを含めて約四千七百五十萬)、イタリア(四千四百四十萬)、フランス(四千二百萬)及びスペイン(二千五百萬)が續いてゐることになる。全歐洲人口五億三千萬の五分の一、又もしソ聯邦と大ブリテンを除けば其の三分の一近くの人口は今や大獨逸の勢力圏内(舊波蘭領内の總督領を含む)に生活してゐることになる。

尚、三九年の調査の行はれたる領域内の一九三三年當初の總人口は約七六、四四一、〇〇〇人で此の領域内に於ける約六箇年間の人口増加は二、九三四、〇〇〇

人、割合にして三・八%に當る。この増加が殆んど自然増加に負ふものであることはこの期間の自然増加數二、八五八、〇〇〇人の數字を見れば明らかで、移入人口による増加は約七六、〇〇〇人となるわけである。

※前調査はザール地方を除く舊領土に於ては一九三三年六月一日、ザール地方は三五年六月二五日、オストマルクは三四年三月二二日、ズデーテン獨逸地方は三〇年二月一日施行
 (Wirtschaft u. Statistik 1940 Nr. 17 所載)

ボヘミア及モラヴィア兩獨逸保護領並

波蘭總督領最近の推定人口

ボヘミア及モラヴィア兩獨逸保護領の人口に就いては從來精確な調査數字を缺いてゐたが、最近生活必需品カードを基礎として推計された所によると一九四〇年首に於て、三九年以降來往せる獨逸人及び軍人兵士を除き、

七、三八〇、〇〇〇人

と推定される旨獨逸統計局は發表してゐる。兩保護領の面積は四八、九五九方料であるから一方料當りの人口密度は一五〇・七人の割合となる。尚プラーゲ以下四大市の人口は次の如くで(一九四〇年中期)、四大市の人口は全人口の約五分の一(二二・六%)を占めてゐる勘定となる。

プラーゲ 九七六、七五九

ブルユン 二九五、四〇〇

オストラウ 一二九、九九三

ピルゼン 一一九、八三二

同じく波蘭總督領最近の推計人口は一九四〇年六月一日現在で、

一一、一〇七、四一八人

で、面積九三、八七〇・五二方料、一方料當り人口密度一二九人となる。

尚ワルシャウ市の人口は約百三十萬七千と發表されてゐる。